

社会資本総合整備計画

新湊地区都市再生整備計画

とやま いみず
富山県 射水市

平成29年12月27日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成29年12月27日

計画の名称	新湊地区都市再生整備計画					変更回数		重点配分対象の該当									
計画の期間	平成30年度～平成33年度(4年間)		交付対象	射水市													
計画の目標	<p>公共施設の統廃合より、新湊地区の中心に立地していた新湊庁舎は平成28年10月に廃止され、中心地の賑わいや求心力低下が危惧されている。当地区は「観光・ものづくりゾーン」と位置付けられ、旧庁舎跡地利用については、複合・交流施設や公共交通広場設置の方向性を掲げている。複合・交流施設には地区センター、市民交流スペース、オフィス機能、観光案内施設等の導入が計画されている。</p> <p>複合・交流センター、交通広場を中心拠点地とし、内川の水辺空間や歴史ある街並み等の豊富な観光地区への交通ネットワークを整備することにより、交流人口の増加、公共交通の利便性の向上、市民交流機能の充実を図る。「中心市街地の拠点性と魅力向上を図ること」、「地区が持つ景観、伝統文化を生かし、内川と中心市街地が一体となった景観づくりを図ること」、「良好な住環境整備により、地域住民の快適な暮らしの向上を図ること」を整備目標とする。</p>																
計画の成果目標(定量的指標)	<p>①万葉線西新湊駅の年間乗降客数 ②川の駅新湊の年間利用者数 ③地区計画エリア内人口数</p>																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
			当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)												
	①交通結節点のアクセス及び生活に利用する社会資本の整備効果を万葉線西新湊駅の年間乗降客数の推移で確認する。			233,027(人/年)	-	238,000(人/年)											
	②内川沿線の高質空間及び景観整備効果を主要拠点である川の駅新湊の年間利用者数で確認する。			35,439(人/年)	-	39,000(人/年)											
	③生活に利用する社会資本を整備することによる効果を、本地区計画エリア内の人口推移で確認する。			7,864(人)	-	7,860(人)											
全体事業費	合計 (A+B+C)	365百万円	A	365百万円(うち提案事業分15百万円)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案事業分)+C)/(A+B+C)	4.1%							
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
1-A-1	都市再生	一般	射水市	直接	射水市	新湊地区都市再生整備計画	地域生活基盤施設 高質空間形成施設	射水市						365	-	-	-
合計											365	-	-	-			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
-	-	-	-	-	-	-	-	-						0	-	-	-
合計											0	-	-	-			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
														0	-		
合計											0	-					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	0	0	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	-

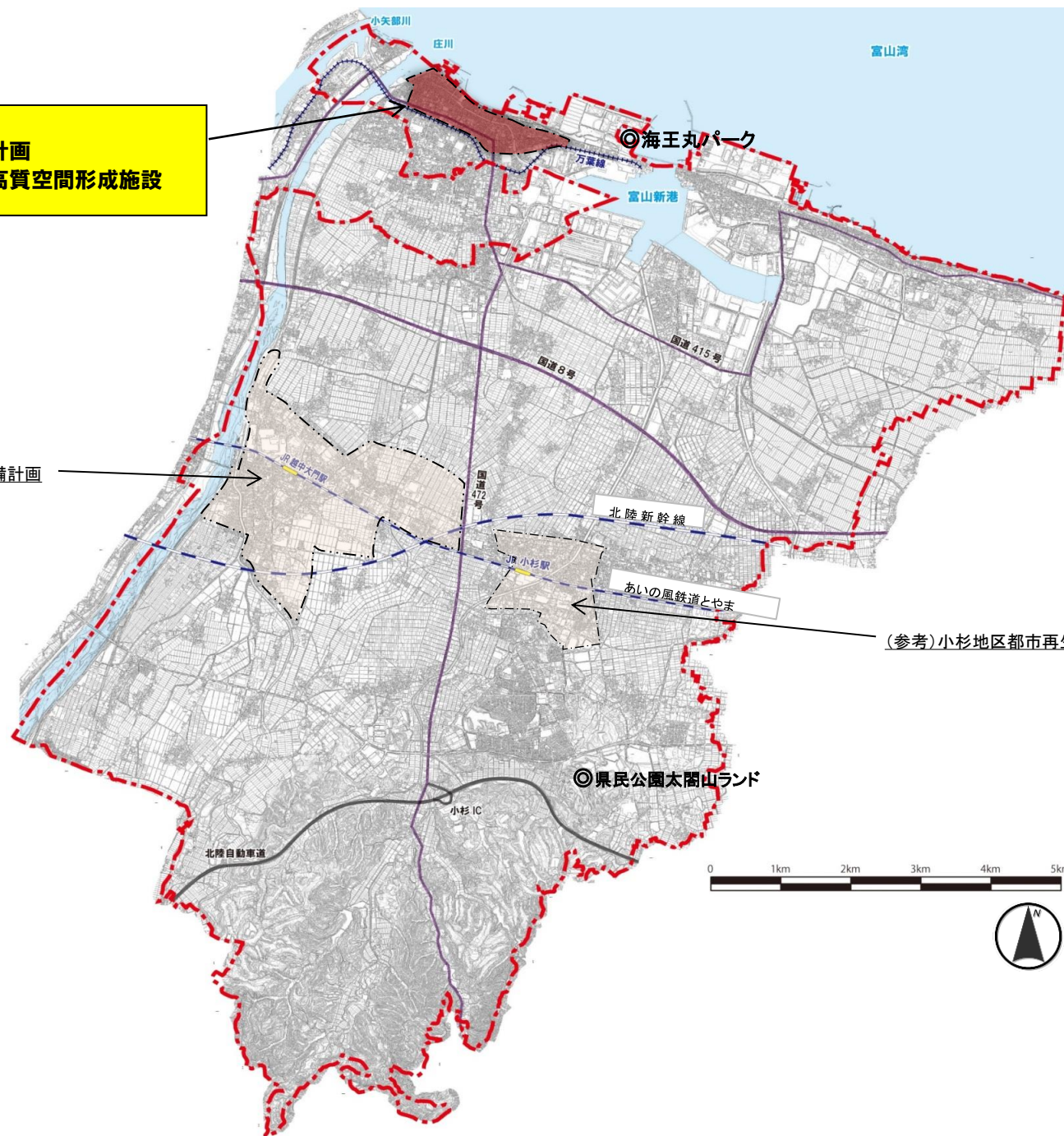
(参考様式2) 参考図面(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	新湊地区都市再生整備計画	変更回数	
計画の期間	平成30年度 ~ 平成33年度 (4年間)	交付対象	射水市

■基幹事業(1-A-1)
 新湊地区都市再生整備計画
 (地域生活基盤施設、高質空間形成施設等)

(参考)大門・大島地区都市再生整備計画

(参考)小杉地区都市再生整備計画



凡例	
	基幹事業
	効果促進事業

都市再生整備計画

しんみなと ちく
新湊地区

とやまけん いみずし
富山県 射水市

平成29年 12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	射水市	地区名	新湊地区	面積	116.3 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				

目標 大目標: 中心市街地の魅力再生と内川から中心市街地への景観づくりによる活力あるまちづくり	
目標1	中心市街地の拠点性と魅力向上を図る。
目標2	地区が持つ景観、伝統文化を活かし、内川と中心市街地が一体となった景観づくりを図る。
目標3	良好な住環境整備により、地域住民の快適な暮らしの向上を図る。
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況	
<p>・新湊地区の中心部である本地区は、万葉集にも歌われた古くから開けた地で、室町時代には、文化人が集まるなど、古くから歴史と文化が栄えたまちである。また、江戸時代には、放生津潟と内川を中心とする海運が発達し、射水地方の要衝としても発達してきた。</p> <p>・地区を流れる内川周辺では、これまでの旧まちづくり交付金事業で、観光客をターゲットした整備等を進めてきており、東洋のベニスの名に相応しい景観を有している。また、曳山まつり、地区の伝統「曳山」を今に伝えている。</p> <p>・しかし、現在ではモータリゼーションの発展への対応の遅れや、住宅が密集し建て替えもままならないこと等から、核家族化の進展や市街地周辺への移転など空洞化と高齢化が進み、人口減少が著しい状況にある。</p> <p>・市では、平成17年の市町村合併以前より、このような風土・自然・文化を活かし、内川橋巡りや遊覧船の運航、遊歩道整備等、海、水をテーマとしたまちづくりを推進してきており、過去に「旧まちづくり交付金事業」などを活用し、道路や公園等の施設整備を実施し、観光魅力の向上と地区の活性化に取り組んできており、平成19年には、歴史・文化・賑わいの水辺回廊の実現を目指す県の「水辺のまち夢プラン」のモデル地域に選定されている。</p> <p>・近年では北陸新幹線の開業など、広域的な交通環境の変化もあり、内川周辺をはじめとしてみなとまちの街並みや美しい水辺等の景観・環境、曳山や北前船等の歴史・文化を有している本地区が、映画のロケ地などとして取り上げられ全国的に注目を集めている。</p> <p>・平成26年度に策定された「第2次射水市総合計画」では、既成市街地活性化の推進の一つとして、内川の水辺空間や歴史ある街並み等を活かした特色あるまちづくりの推進を挙げている。</p> <p>・また、公共施設の統廃合の一環として、これまで本地区の中心部に立地していた市役所新湊庁舎が庁舎として50年の役割を終え、平成28年10月に廃止された。その跡地利活用の方向性については、本地区の豊富な観光資源を生かし、安定的に交流人口を受け入れるための公共交通の結節点として、観光機能も備えた公共交通ターミナルの整備をする方針が打ち出されている。</p> <p>・市も、こうした現状と人口減少並びに高齢化の進行も相まって地域活力の低下を招いており、空き地や空き家が多く見られる状況である。空き家・空き地に対しては、市も情報提供などを行い改善に向け取り組みを進めている。</p> <p>・また、平成27年度に策定された「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、市内の観光拠点を結ぶ観光ネットワークを整備し、観光地としての魅力を全国に発信し、交流人口の増加を図るほか、良好な住環境整備や情報発信等により定住人口の維持に努め、若者の定着を推進するとしている。</p> <p>・このように、中心市街地内の歴史・文化資源等を有効活用しつつ、中心市街地特色あるまちづくりを進め、交流人口並びに定住人口の増加が望まれる地域となっている。</p>	
課題 <p>・これまで本地区の中心となっていた市役所新湊庁舎の統廃合による地区の活力低下への対応が求められている。</p> <p>・安全・安心な自転車歩行者道が不足していること。</p> <p>・地区住民、観光客が快適に過ごせる環境づくりが求められている。</p> <p>・増加している観光客の受け入れ体制の確保。</p>	
将来ビジョン(中長期) <p>・「第2次射水市総合計画」において、快適で住みよいまちづくりの一環として、市街地を流れる河川等の水辺空間や歴史ある街並み等を活かした個性的で魅力あるまちづくりを進めるとしている。</p> <p>・「射水市都市計画マスタープラン」の西部臨海地域のまちづくりでは、「潤い環境を活かした、風情と賑わいのある“みなと”のまち」を地域の将来像に掲げ、①水辺空間などの活用による、人々が憩い集える魅力的なまちづくり、②にぎわいにあふれた活力ある地域づくり、③災害に強い、安全・安心な地域づくりの3つを基本方針に掲げている。</p>	

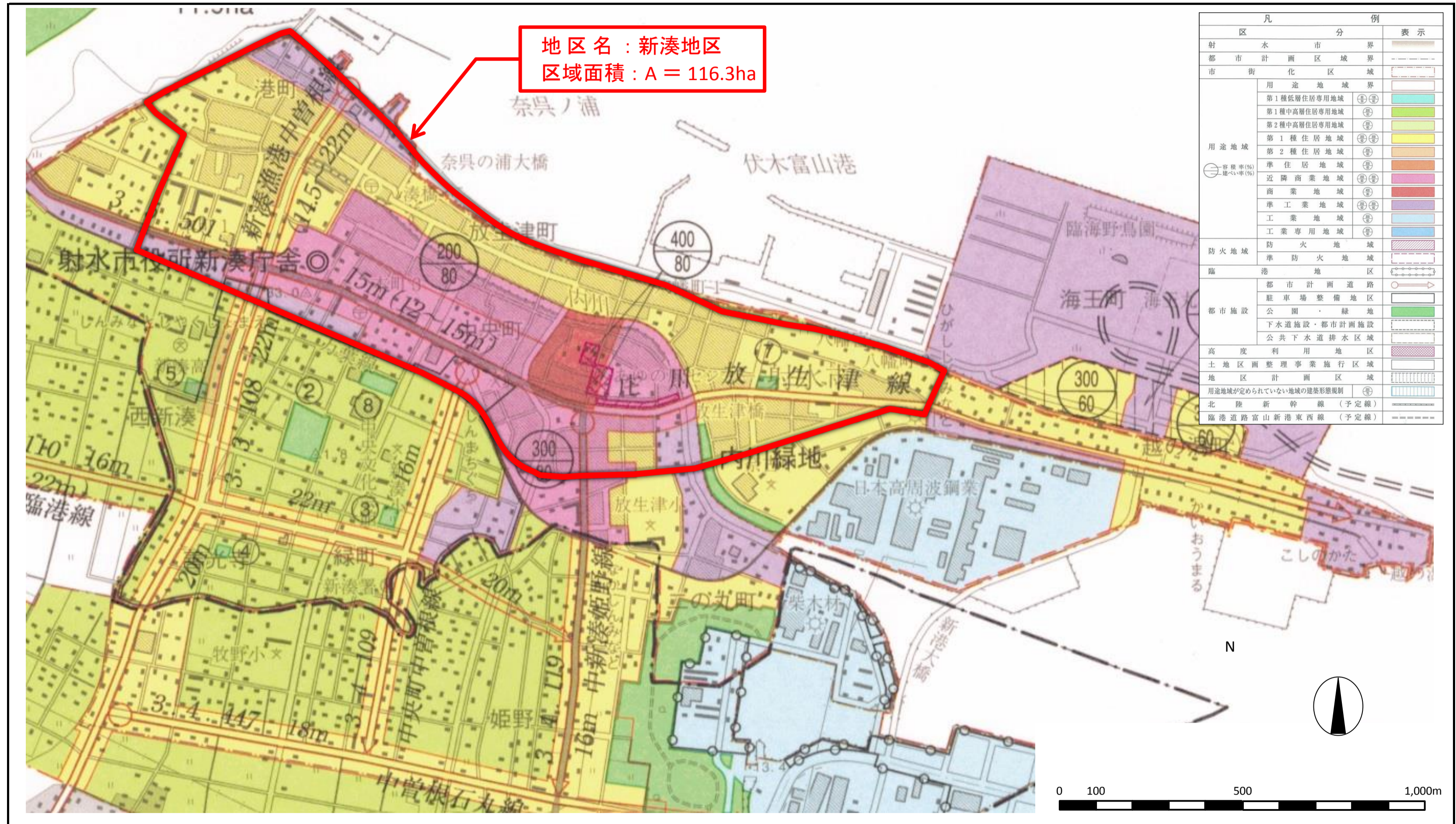
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 西新湊駅乗降客数	人/年	万葉線西新湊駅の年間乗降客数	新湊庁舎跡地を交通結節点として整備することにより、同駅の乗り換え拠点としての地位を高め、乗降客数の約5,000人の増加を図る。	233,027(人/年)	平成26年度	238,000(人/年)	平成33年度
2. ロケ地来訪者(川の駅)数	人/年	川の駅新湊の年間利用者数	交通広場や内川周辺の整備などを通して、「川の駅新湊」の年間利用者数の10%増を目指す。	35,439(人/年)	平成26年度	39,000(人/年)	平成33年度
3. 地区内人口数	人	新湊地区計画エリア内の人口数	生活に利用する社会資本を整備することによる効果を、地区内の人口推移で確認する。	7,864人	平成29年度	7,860人	平成33年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 中心市街地の拠点性と魅力向上を図る。</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市役所機能の統廃合による地区の活力低下への対応と安定した交流人口を受け入れるための交通広場の整備を図る。 ●新湊庁舎跡地を活用し、中心市街地の活性化に寄与する施設整備を図る。 ●地区内観光にあたり、回遊する際の快適性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通広場整備〔基幹事業(地域生活基盤施設)〕 ・案内板設置〔基幹事業(地域生活基盤施設)〕
<p>目標2: 地区が持つ景観、伝統文化を活かし、内川と中心市街地が一体となった景観づくりを図る。</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光周遊ルート内で内川から中心市街地へ続く、快適・安全に移動が可能な空間の整備を図る。 ●内川から中心市街地へ続く、用水を活かした路肩整備を行い、地区内の回遊性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(市)港町善光寺線歩道(緑地)部整備〔高質空間形成施設〕 ・(市)新湊270号線路肩部整備〔高質空間形成施設〕
<p>目標3: 良好な住環境整備により、地域住民の快適な暮らしの向上を図る。</p> <p>【整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり団体等が企画するイベント時(内川十楽の市、十楽夜祭、内川ジャズライブ等)に照明、音響設備、イベント車両などのための電源供給設備等を整備するもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・広場空間賑わい創出支援設備整備〔提案事業(地域創造支援事業)〕
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>新湊地区(富山県射水市)</p>	<p>面積 116.3 ha</p>	<p>区域 港町、本町一丁目、二丁目、三丁目、放生津町、立町の全域 庄川本町、中央町、二丁目、三丁目、中新湊の一部</p>
---------------------	--------------------	-------------------------------------------------------------------



新湊地区(富山県射水市) 整備方針概要図

目標	大目標: 中心市街地の魅力再生と内川から中心市街地への景観づくりによる活力あるまちづくり	代表的な指標	西新湊駅乗降客数 (人/年)	233,027 (平成26年度)	→	238,000 (平成33年度)
			ロケ地来訪者(川の駅)数 (人/年)	35,439 (平成26年度)	→	39,000 (平成33年度)
			地区計画エリア内人口数 (人)	7,864 (平成29年度)	→	7,860 (平成33年度)

